

現実は厳しい。
それでも
大切なものがここにある。

お寺の活性化？

「大変むずかしい問題です…」

——寺院活性化支援の各講座を進める中で、いちばん聞いた言葉かもしれません。

先日、講座に参加されたある門徒さんがおっしゃいました。「そりやあ、簡単よ。仏教を開くご縁が広がっていくことやろう」とひとこと。その通りだと思いました。

また、ある門徒さんは、「若さんの姿勢が変わり、私たちにお寺のことを相談してくれました。ありがたい」とおっしゃいました。こんな瞬間に出会うと、これがお寺の活性化なのかな？と。

お寺には、私たちの生き方を支えるたくさんの可能性があります。それを、みんなと一緒に語りはじめたとき、元気のもとが次々と出てくるのを感じます。



お気軽にご相談ください

真宗大谷派 企画調整局 寺院活性化支援室

〒600-8164

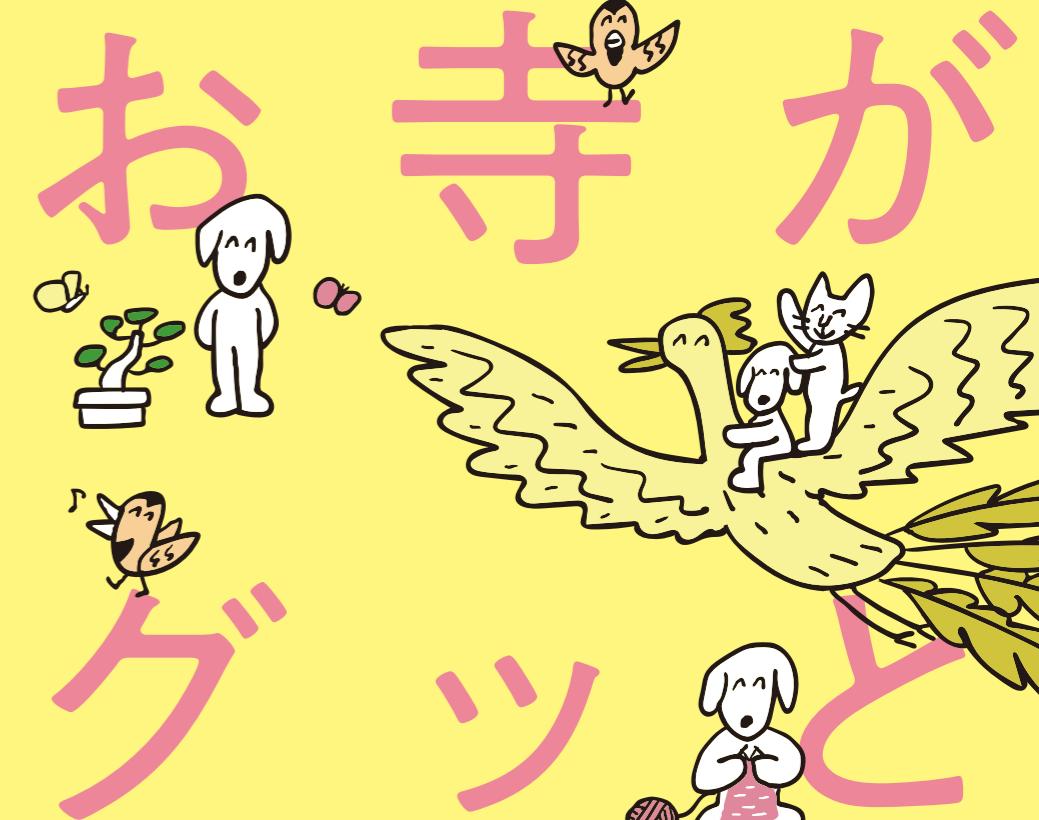
京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地

しんらん交流館内

☎ 075-371-9208

E-mail : kikaku@higashihonganji.or.jp

しんらん交流館ホームページ <http://jodo-shinshu.info/>



真宗大谷派 企画調整局 寺院活性化支援室

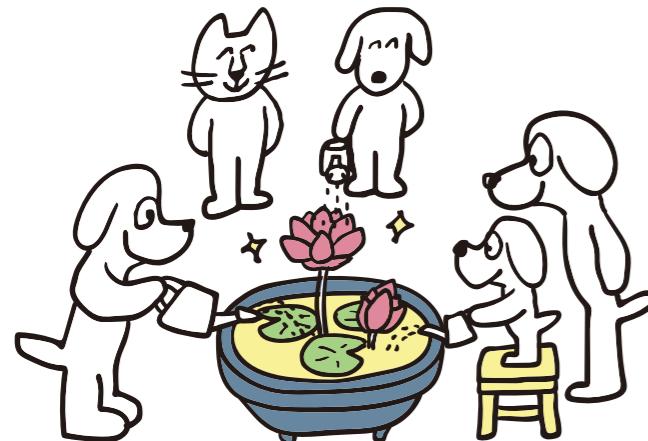


全5回!



元気なお寺づくり講座

一緒にお寺の将来を
描いてみませんか?



全 国的な人口減少・流動、世帯の分散、価値観の多様化。わたしたちの生活は変わり続け、お寺でも「今まで通りではいけない」という空気を感じます。大切な教えはどう表現すれば伝えていくことができるのか。僧侶と門徒が、本音で語り合う全5回の「元気なお寺づくり講座」では、これまでのお寺の状況をじっくり確かめ、将来に向けての「寺業計画書[®]」と一緒に作成します。



参加者の声
山陽教区安芸南組
極楽寺 住職
惣持留理さん

講座で計画書を作りながら、お寺のつながりの深さと広さに気づき、私自身の意識も変わりました。たくさんの思いや意見が聞けたことで、一人で悩んでいたお寺の将来に光が見えました。



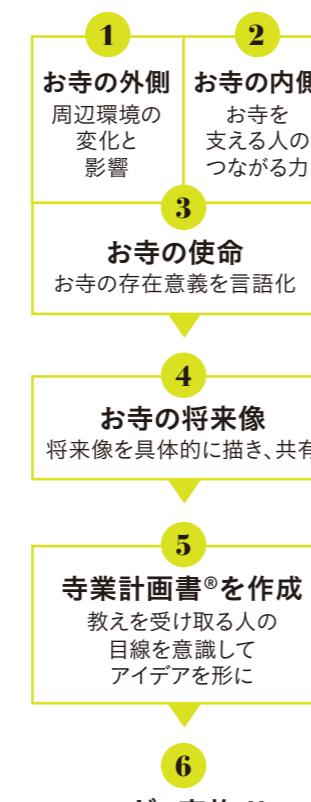
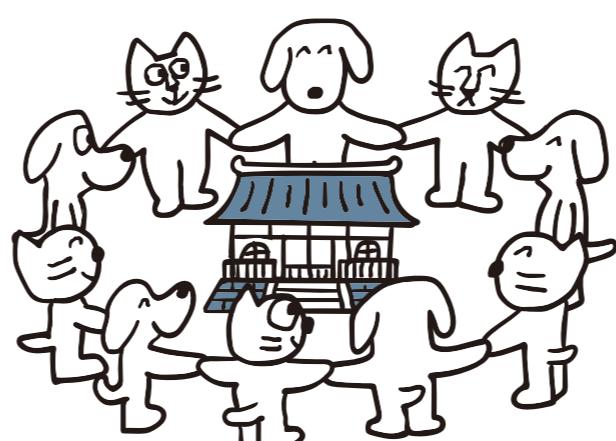
一緒に考えましょう!
主任 小谷 仁

多様な現場だからこそ生まれる多様な教化のあり方が形になると、お寺に元気が生まれます。一緒にその一歩をはじめましょう!



過疎・過密地域寺院支援

「あ、やれるかも」をやってみる。
お寺に寄り添う講師を派遣します。



そのお寺、その地域だからこそ育まれている大切なことがあります。だからこそ、支援員はその場に足を運び、大切なことを発見していきたい。すぐに答えを求めず、聞き役としてみなさんと一緒に考える伴走者をめざします。

お寺の現在と未来を支援員とお話しし、新たな教化事業のテーマにあう講師を派遣することで、その土地でつながっていく教化活動のきっかけをつくります。

例えばほかにも...
●故郷を離れた門徒の集い
●法話を聞く場の構築
などが企画されています!



「お寺は村のお内仏」という言葉が残る岐阜県揖斐川町のお寺。大事なことを語ると打ち解けます。



進学や就職で多くの若者が島を離れる五島列島のお寺。自分たちの状況を話し、将来を具体的に考えることにつながりました。



私たちが
お手伝いします

支援員
清原明子さん

過疎という状況であっても前向きにできること、したいこと、しなければならないことを一步ずつ進めることはできると実感しています。その地域に住み、歴史を背負っていく方々にしか出しができない答えを見つけていきたいです!



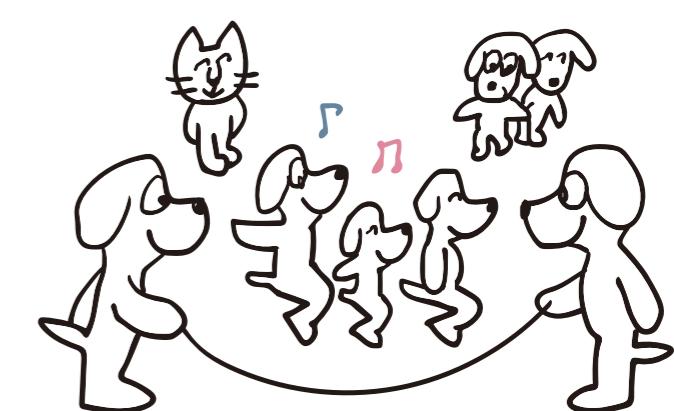
主任
永井道文

僕のお寺は過疎地域。やりたいことより、まずはやるべきことから丁寧にやっていこうと取り組んでいます。できることから一緒に!という輪を広げていきましょう。



青少幼年教化支援

みんな違う、それがいい。
ひと工夫してみることから。



私たちが
お手伝いします



支援員
観山尚之さん

法事にお参りしている同級生や先輩の子どもたちに「お寺に遊びにおいて」と声を掛けたところ、学校帰りにお寺に遊びに来てくれるようになりました。地元の友人もお寺の行事を手伝ってくれるようになりました。



主任
松田亜世

ご本尊に手を合わせて生きる子どもや同世代のひとがお寺に“一人”誕生することが、わたしにとっての「寺院活性化」です! 青少幼年センターと連携し、仏教との出合いの場づくりをサポートします。

「教えを次世代に伝えたいけれど、「子ども会」や「青年会」をはじめるのは難しい」。よく、そんな声が聞こえてきます。

もっと自由な発想で、お寺の状況にあわせた形があっていい。今の取り組みにひと工夫するだけで可能性が大きく広がることもあります。

お寺の状況や悩みをみなさんにお聞きしながら、「教えを伝えたい」という思いを形にするお手伝いをしていきます。

例えばこんなひと工夫
●お墓参りで風船を渡す
●法語にふりがなを振る



お参りのとき、絵本を読んでみました。子どもも話すきっかけづくりで会話が弾みます。



お酒を酌み交わしながら同世代と語り合ってみました。生活と仏教がグッと近くなります。